

<応用情報技術者試験 講評>

【午前】

テクノロジ系で出題された約 80%は、基本情報で重要なキーワードを正確に理解すれば解答できる問題で、前回同様に、D/A 変換器の電圧算出(問 23)やワンチップマイコンの問題(問 25)などの機械制御に関わる問題、コンピュータグラフィックスに関する問題(問 27 や問 28)の出題もありました。多角形の交差回数(問 6)やプログラムの局所参照性(問 19)、Apache での処理(問 22)など広い範囲の学習が必要なものもありました。キーワードを理解していれば満足のいく結果を残せたと思いますが、暗記に頼る学習では時間的余裕のない試験だったと感じます。

マネジメント系のプロジェクトマネジメントは 4 問程度で、マネジメントサイクルの概要や定番の PERT 図や工数計算、IT サービスマネジメントでは、重要なキーワードである ITIL を中心とした出題ですが、システム監査に関する問題は、用語を正確に理解していないと解答は困難だと推測します。

ストラテジ系は、用語の意味を問う単純な問題が多数を占めるものの、テキストでカバーできるのは 10 問程度なので日ごろの情報収集が大切です。ただし、在庫量問題(問 77)など定番問題も出題されており、基本的には、テキストの範囲を十分理解すれば合格水準を満たしたのではないかと推測します。今回の試験を分析すると、下記ようになります。

分野	分類	2010/04		2009 年平均	
		出題数	全体比率	出題数	全体比率
テクノロジ系	基礎理論	8	10%	11	14%
	コンピュータシステム	16	20%	15	19%
	技術要素	17	21%	14.5	18%
	開発技術	8	10%	8.5	11%
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	4	5%	5	6%
	サービスマネジメント	7	9%	6	7%
ストラテジ系	システム戦略	5	6%	6	7%
	経営戦略	9	11%	8	10%
	企業と法務	6	8%	6	8%

午前全体をとおして、複雑な計算問題や難解な問題は少なく、重要なキーワードを確実に理解し、計算問題では落ち着いてイメージミスなく解答すれば、納得のいく成果を出せたのではないかと思います。時間難易度は前回より「難しく」、内容難易度は、対策困難な問題はあるものの前回と「ほぼ同じ」と分析します。

【午後】

午後の出題は次の内容でした。

- 問1 企業の経営分析
- 問2 アプリケーションで使用するデータ構造とアルゴリズム
- 問3 バランススコアカード
- 問4 インターネットを介した情報提供システム
- 問5 無線 LAN の設定
- 問6 販売管理システムで使用する SQL 文の検証
- 問7 タクシーの料金メータの設計
- 問8 ソフトウェアのオブジェクト指向設計
- 問9 DNS サーバのセキュリティ対策
- 問10 EVM(Earned Value Management)
- 問11 サービスサポート業務のインシデント管理における作業プロセス改善
- 問12 外部委託管理の監査

[問 1 と問 2 で 1 問選択]

経営戦略(問 1)は B/S と P/L を基に分析する問題で、財務の基本用語を理解したうえで、キャッシュフローの基本事項、財務分析の手法などを理解しないと解答が困難です。

プログラミング(問 2)は、配列とリストに関する問題ですが、空欄に対応した文章をよく読み、処理量のオーダ記法を丁寧に求めれば、比較的簡単に解答できたのではないかと思います。

[問 3 から問 12 で 5 問選択]

問 3(戦略立案)、問 4(システムアーキテクチャ)、問 5(ネットワーク)、問 10(プロジェクトマネジメント)や問 12(システム監査)は、キーワードを理解できていればほぼ解ける問題でした。

問 6(データベース)や問 8(情報システム開発)、問 11(IT サービスマネジメント)は、予想通りの問題で、過去問題で傾向、重点個所を学習していれば解答できる問題だったと思います。

問 9(情報セキュリティ)の DNS キャッシュポイズニングに、戸惑った方もいたかもしれませんが、問題で概要は理解できるので解答は可能だったと推測します。

昨年度から実施された応用情報ですが、午後の問題では、午前の重要なキーワードを理解できれば大半の設問が解答可能であり、記述問題は問題の読解力が問われています。午前を中心としてしっかり学習し、イメージミスに注意して、問題を読解できれば、合格圏内の点数を取れたと思います。

時間難易度は前回試験と「ほぼ同じレベル」、内容難易度も、問題読解力を必要とするものの、レベル 3 のシラバスの範囲であり前回試験と「ほぼ同じレベル」と分析します。